

あなたとtogether
アクティブJA

Active JA

a year
2024

1

January
No. 286

謹賀新年

皆様のご健康とご多幸を
お祈り申し上げます



新年は辰年！

JA摩周湖

ホームページアドレス
www.jamashuuko.or.jp



▲HP

メールアドレス
mail@jamashuuko.or.jp



▲X

JA摩周湖
公式SNS



▲Instagram

記事紹介

- 年頭の御挨拶（川口組合長 他）…………… 2～3 P
- トピックス（第72回全道JA青年部大会へ 他）…………… 4 P
- クロスワードパズル 他 ……………… 5 P
- われら辰年生まれ ……………… 6～7 P
- 新春の御挨拶（役職員）…………… 8 P



新年を迎えて

摩周湖農業協同組合

代表理事組合長 川口 寛



新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、令和6年の新春をご家族と共に希望をもって迎えられていることと思います。旧年中は摩周湖農協の各事業運営に対して格段のご協力とご理解を頂いたことにたいして心より厚く御礼申し上げます。本年も変わらぬご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

昨年は記録的な猛暑の影響で作物の品質低下や乳牛の健康管理等色々大変な一年でした。新型コロナウイルスは5類になり一応の終結を見たものの、ウクライナなどの国際情勢や円安により飼料、肥料をはじめ資材価格は高止まり経営原価をおしあげています。

また子牛などの副産物価格の低迷もあり農業経営は厳しいものとなりました。しかしながら期中の乳価改定もあり経営継続にむけ光が見えて来ていると感じます。ホクレンはじめ関係機関の努力に感謝すると共に農協としても金融対策、経営相談等に積極的に取り組んで参ります。補給金についても33銭上げということで要請運動に際して代議士の先生方、農水省の皆様はじめ関係機関に深く御礼申し

上げますとともに更なるお力添えをお願い致します。降りやまない雨はないと言います、生産抑制も事実上終了し今年はまだ夢のある農業経営を進めていけるよう強く願います。

農業基本法の見直しの年でもあります。食料安全保障の観点からも地方の元気を出していく為にも皆が安心して農業を続けていけるような施策をとって頂けることと信じております。弟子屈町でも離農の増加により組合員数の減少が続いておりますが先人先輩たちの築いてきたこの地の農業の灯を消さないようまた益々の進化を続けられるように共にがんばりましょう。

農協としても引き続き経営対策、農業支援事業の充実等組合員皆様のご要望に応えていけるように進めてまいります。またそれらのため職員教育、働く環境など待遇改善に力をいれていく所存でありますので組合員皆様のご協力とご理解を願うところでございます。

最後になりますますが本年の豊穰の秋と令和6年が組合員ご家族、地域の皆様にとってより良い一年となりますことをご祈念申し上げ新年の挨拶といたします。



新年を迎えて

摩周湖農業協同組合

代表理事専務 望月 信雄



新年明けましておめでとう御座います。本年もよろしく御願ひ致します。

最近の世界情勢は、混乱・複雑・不安こんな状況に思われます。新型コロナウイルス感染症に始まり、ロシアのウクライナ侵攻・イスラエルとハマスの紛争・中国経済の悪化・地球温暖化による気候変動など、これらにより多くの問題が発生しています。一部の国では、不安定な世界情勢の影響を受け食料及び食料生産資材の輸出規制に入り日本国内では食料品の価格高騰が激しく食料自給率三十八%が顕著に表面化して来ました。今後日本国内の食料安全保障の強化と持続可能な農業が更に重要視されなければならぬ状況で政府の対応を期待したいと思えます。また消費者にも現状を理解して頂き農産物への価格転嫁を進めて行かなければと考えます。

組合員状況の出来事としては、一番に酪農家十戸が搾乳中止をした昨年当初七十三戸の酪農家が六十三戸になってしまった事で、地域社会の崩壊と酪農産業崩壊になり兼ねない状況になって来ました。また昨年は、過去にない程の猛暑。酪農は工業と違い命ある生き物が相手気

象の影響をもちに受け生乳低下となり酪農経営の更なる悪化となりました。畑作においては、ビートの糖分低下澱原馬鈴薯のライマリ低下と寒冷地作物に適さない気候になり農家経営を悪化させました。この様な中、南弟子屈地区に酪農家と和牛農家二戸の新規就農者が営農をスタートするという事で唯一明るい話題となりました。本年度指定団体ホクレンの生乳生産計画は、前年計画比百一%と前向きな提案がなされており明るい兆しも見えて来ています。

組合の運営状況は、コロナ禍も感染症五類となり会議・研修・交流が活発化してきましたが、今後農協の重要課題としては農家戸数減少にどの様に対応して行くか検討課題となっています。店舗事業については、JA・ホクレン・ホクレン商事の共同運営を提案したいものと考えますので宜しくお願い致します。

本年も厳しい農業情勢の中組合員の皆さんと共にJAに結集し組織力・団結力をもって乗り切りたいと考えております。最後になりますが本年も皆様方の健康とご多幸をお祈り申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。





令和6年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 樽井 功

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業については、春先は天候に恵まれ地域によって降雹被害や竜巻の被害が見られたものの、概ね、平年並みに推移しておりました。しかしながら夏場は猛暑による記録的な高温多湿の影響を大きく受け、各作物の生育自体は、全般的に平年よりも早く進んできましたが、各作物等の収量および品質の低下が顕著となる残念な年でした。

新型コロナウイルス感染症の位置付けは昨年5月より5類に移行し、コロナ禍以前の日常を取り戻しつつありますが、各農畜産物の消費は依然として低迷しており、さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大なものとなっております。

さらにこれらの影響を受け、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっております。

現在、日本の食料自給率は38%しかありません。これは、世界の先進国の中で最低の水準であり、6割以上の食糧を輸入に頼っているのが日本の現状です。

食料安全保障の強化が国家の喫緊の課題であることから、我が国の食料供給基地である

北海道農業が果たしてきた役割、そして北海道農業への期待は、今後ますます大きくなるものと考えております。

J Aグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組むことが重要であり、国民の命の源である食を守り続けるにも、まさに新しい農業を築き、未来の世代へ繋いでいく必要があり、行政や全国連とも連携し、しっかりとその対応を図って参ります。

今年、第31回J A北海道大会が開催されます。また、第30回J A北海道大会の実践最終年度であり、決議された将来ビジョンである、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の成果をしっかりと検証し、次のJ A北海道大会に繋げていく必要があります。

このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越えることが重要となります。

消費者の皆様に対しては、今まで以上に農業・食に対する理解を求めため、J Aグループ北海道統一の情報発信のフレーズである「アグリアクション北海道」を浸透させ、より効果的な情報発信を行い、J Aグループが提唱する「国産国産」の認知を広めて参りましょう。

結びになりますが、本年は辰年です。辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。

この謂われにあやかり、本年が豊穡の年となること、皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

年頭のご挨拶といたします。



新年を迎えて

J A摩周湖青年部

部長 吉田 雄貴

新年あけましておめでとうございます。

日頃より青年部の活動に對しまして組合員及びご家族の皆様、役職員の方々のご理解ご協力頂き誠にありがとうございます。

昨年はコロナウイルスの制限が明け活発に活動を行える1年でした。

中でも地域社会の子どもたちと交流を深め砂糖の消費拡大としてフルーチェを配ったり、食育授業の芋ほりで袋いっぱい芋を笑顔で持つ子どもたちが印象的でした。

また、全道青年部大会には「青年の主張発表」の釧路地区代表として無事に進めることが出来ましたことをこの場をお借りして感謝

申し上げます。

新型コロナウイルスの影響が長期化し各農畜産物の消費が低迷しており、さらに戦争の影響を受け飼料・肥料を始めとした生産資材の高止まりが農業経営に多大な影響を与えました。

このような社会情勢の中で日々の生活に息苦しさを感じることもあります。

日々協力しながらこの困難をみんなで乗り越えていきたいと思っております。

最後になりますが我々青年部一同を本年も宜しくお願い致します。



新年を迎えて

J A摩周湖女性部

部長 黒野 朋子

謹んで新春をお祝い申し上げます。

日頃より女性部活動に對しまして、ご家族の皆様、並びに組合員及び役職員の方々のご理解とご協力を頂いておりますことを厚くお礼申し上げます。

さて、昨年におきましても、農業情勢はまだまだ青空が見えてこない状況が続いております。その中であって、11月末日には、14年ぶりにJ A全中が東京において畜産・酪農全国代表者大会を開催し、与党の対応への要望を訴えました。畑作においても、基本法の見直し等々検討が進められているようで、少しずつではありますが、生産現場への支援が動き始めています。

しかしながら、まだしばらく各戸それぞれが、かかる経費を考えたが、その力量を發揮しなければ

家計を守る女性、その力量を發揮しなければ

家計を守る女性、その力量を發揮しなければ

家計を守る女性、その力量を發揮しなければ

ばなりません。ここぞ女性部活動を活かす機会だと思っております。

昨年はコロナに対して「コロナとの共存」へと対応が移行して、J A摩周湖内の活動のみならず、釧路管内、全道の行事、消費者との交流行事も再開し、国内の農業の状況を知ることが出来、友人が増え、自らの営農に役立つ情報交換が出来ました。女性部活動を通して、部員一人一人が、営農の底力になればと思っております。

本年は農協だよりの紙面をお借りしたりして、女性部活動の情報をできるだけ発信してゆきたいと考えております。皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

末尾になりましたが、皆様が笑み多く、健康に過ごされる1年であることを祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。





第72回全道JA青年部大会及び視察研修

12/6~9



札幌パークホテルにて、第72回青年部大会が行われ、当JAからも6名の部員が参加致しました。当JAを代表し、岡林 輝氏が実績発表に参加し、優秀賞を獲得致しました。

基調講演では「JAとの対話から地域農業を考える」という題目で、北大小林准教授と道青協役員及び全青協稲村会長を交え、パネルディスカッション形式で行われました。議論された内容はスマホアプリにて会場の盟友にも共有され、JAの職員不足や役員との意思疎通の難しさ等が協議されました。

視察研修では、北海道ポールパークFビレッジ内にある「クボタアグリフロント」を見学しました。



施設内ではアスパラ、イチゴ、トマト、レタス等が生産されており、最新の技術が結集した近未来的な農業が行われておりました。



摩周和牛改良組合

日置市視察研修

11/2~5



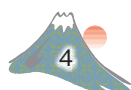
摩周和牛改良組合にて、姉妹都市である鹿児島県日置市への視察研修を行いました。

1日目は日置市への異動にて終了しました。2日目は㈱ミヤボク宮下牧場さんを視察致しました。同牧場は、第72回鹿児島畜産共進会にてブランドチャンピオンを獲得した牧場であり、測尺と軽い毛刈り体験をさせて頂きました。

2日目の2件目の視察先は、今村牧場さんを視察させて頂きました。同牧場では、広々としたパドックで牛がのびのびと生活している様子が特徴的でした。

3日目は、久保牧場さんを視察させて頂きました。同牧場では、弟子屈町に導入された「かねはる」「みよ14」「こゆき」の生産農家さんです。繁殖牛の頭数は多くはありませんが、1頭1頭大切に育てられていることが一目でわかる牧場でした。

視察終了後には日置市畜産青年部合同懇親会を開催して頂き、意見交換や懇親が深められ、大変有意義な懇親会となりました。



新年号
特別企画

クロスワードパズル

ドーンと25名様にお年玉プレゼント!

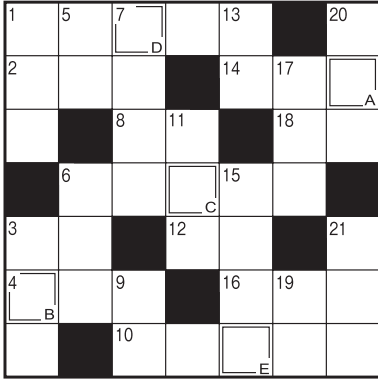


今月は、正解者の中から5名の方に商品券を4倍にしてビックプレゼント! さらに抽選に漏れた方の中から20名に商品券を2倍にし、合計25名にプレゼントしちゃいます!

お便りやイラストも添えて、ドシドシご応募下さい!

応募締切日 1月20日着まで

※抽選から漏れない様にするには、締切り厳守でネ。



(出題) ニヨリ

A～Eの二重ワクの文字を順に並べて出来た言葉が答えです。正解者の中から抽選で合計25名の方に商品券引換券をプレゼント。どしどしご応募ください。

(締め切りは1月20日です。)

★応募方法

折込の応募ハガキ(官製ハガキも可)に答えと住所、氏名、電話番号と「ActiveJA」に対するご意見やイラスト、その他どんなことでも結構ですので、お便りを添えて郵送かFAX(482-3196)でご応募下さい。尚、Aコープレジの後ろに応募箱を設置しておりますのでお買い物の際にご利用ください。

- ### ①タテのカギ
- 1 ひょっとことよく対にされます
 - 3 英語でいうとファミリー
 - 5 凹がオウなら凸は
 - 6 金剛力士像のこと。あうんで一対
 - 7 このわたや酒盗もこの一種
 - 9 大豆は畑の——といわれます
 - 11 物は——と新製品を買ってみた
 - 13 牛乳を温めると表面にできます
 - 15 足の末端のこと
 - 17 京都・祇園の宴席に花を添えます
 - 19 一年の——は元旦にあり
 - 20 ダイコンや練り物、ゆで卵などを出汁で煮込んだ料理

- ### ②ヨコのカギ
- 1 子どもが楽しみにしている正月の臨時収入
 - 2 昆布と——節で出汁をとった
 - 3 親子や兄弟でそっくりな人も
 - 4 正月に付きものの汁物
 - 6 笑うと負けよ、あっぷっぷ
 - 8 がっかりした時に落とします
 - 10 タイヤに繋いでシュッシュ
 - 12 ボーダーやストライプ
 - 14 落ち葉をかき集める道具
 - 16 ノルウェーも画家、ムンクの代表作品
 - 18 忍者が指を組んで結ぶもの

★応募先: 〒088-3211 弟子屈町中央3-7-12 JA摩周湖管理課プレゼントクイズ係



訂正内容
 生年月日…昭和41年3月10日
 出身地…釧路市
 出身校…東海大学工学部
 趣味・特技…
 スポーツ、昔はオフロードバイク

先月号の訂正について
 先月号4ページにて掲載の新採用職員紹介の記事について訂正が御座います、大変申し訳ございませんでした。

摩周和牛改良組合が令和5年度改良組合表彰にて、分婁間隔の部で、繁殖雌牛の平均分婁間隔の平均値が全国453組合中、上位14組合が表彰されました。また、連産牛表彰では、郷栄農場(株)「あきや」6号、芝田牧場「きさらぎ」1号が表彰を受けました。



令和5年度
改良組合表彰

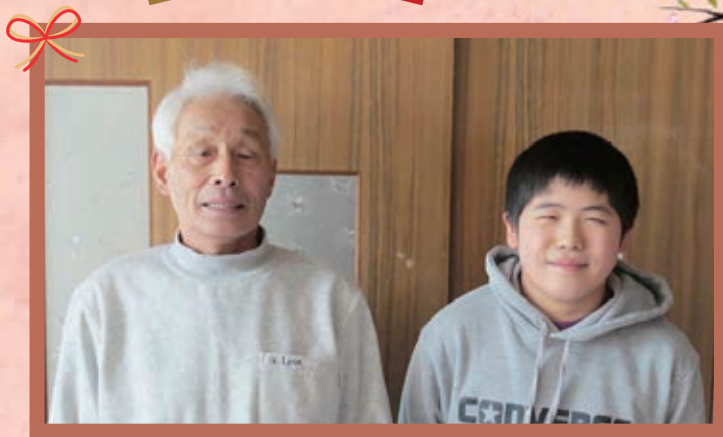
12/7

われら

1月

年生まれ

2024年 元日

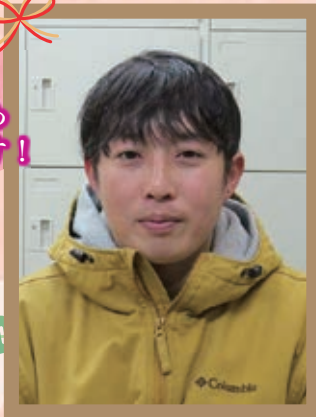


ひとこと
健康に一年を
過ごしたい

ひとこと
沢山共進会に
行けるよう頑張りたい!

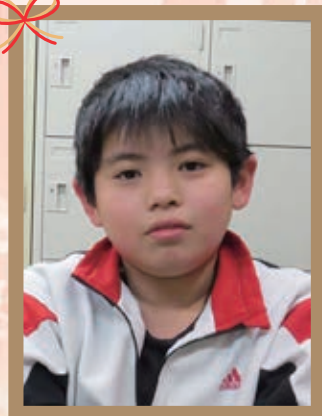
坪井 満文さん 坪井 惺空さん
〈奥春別〉 〈奥春別〉
昭和27年生まれ 平成24年生まれ

ひとこと
身体の不調を整えるため
真面目に通院をしたいと思います!



芳賀 和也さん
〈美留和〉
昭和63年生まれ

ひとこと
習い事や勉強などを
頑張る!



江上 拓杜さん
〈仁多〉
平成24年生まれ

ひとこと
健康に気を付けて
頑張りたい!



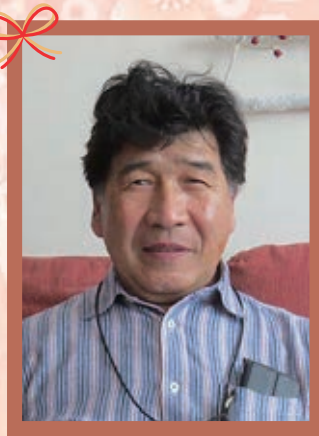
藤野 利来さん
〈畜産課 牧場管理係〉
平成12年生まれ





ひとこと
健康第一に
頑張ります！

狩野 藍さん
〈仁多〉
昭和63年生まれ



ひとこと
元気に仕事を
頑張っていきたい

岡部 茂雄さん
〈仁多〉
昭和27年生まれ

ひとこと
家族みんなが健康に過ごせる
一年にしていきたいです！



牧之瀬智子さん
〈仁多〉
昭和63年生まれ



ひとこと
今年も釣りを
楽しみたい

ひとこと
スノーボードの練習をして、
色々な山に行きたい！

高橋 房一さん 高橋 大我さん
〈奥春別〉 〈奥春別〉
昭和27年生まれ 平成24年生まれ

辰年の性格

- ＊一つの事に熱中しやすい
- ＊何事にもプライドを持って取り組む
- ＊個性が強く独創的
- ＊自分の意見を主張できる
- ＊物事を冷静に見ることが出来る
- ＊好奇心旺盛で行動力がある

辰年の今年の運勢

- 総合面**▼辰年生まれの皆さん、今年は集中力が途切れやすい一年になるので、気持ちの切り替えを上手く行う事が幸運に繋がるでしょう。
- 仕事運**▼頑張っているつもりでもなかなか結果が出ない時期がありますが、やるべきことに集中し、継続していくことで結果が伴ってくるでしょう。
- 恋愛運**▼今年相性の良い相手は、一緒にいて気持ちが落ち着く人でしょう。落ち着いた場所でデートが出来ると距離を詰められるかもしれません。
- 金運**▼今年は自分の知性を高めることにお金を使う事が金運アップに繋がるでしょう。
- 健康運**▼今年は肝心な時にたいちようを崩してしまう暗示が出ている為、大事な行事が控えているときはいつも以上に体調管理に気を付けると良いでしょう。

